

第10回南アジアおよびインドシナにおける自然環境と人間活動に関する研究集会  
ーインド亜大陸東部・インドシナの自然災害と人間活動ー

東京工芸大学風工学拠点  
「発展途上国の竜巻の発生環境、強風被害評価及び被害軽減に関する研究」

主催：東京工芸大学風工学研究拠点、京都大学防災研究所  
共催：京都大学東南アジア研究所、京都大学融合チーム研究プログラム、  
首都大学東京、奈良女子大学

日時：2015年3月22日(日) 14:00 - 3月23日(月) 12:00

場所：東京工芸大学 中野キャンパス 芸術情報館3階 大会議室

<http://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/#nakano>

所在地：〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 TEL:03-3372-1321 FAX:03-3372-1330

【開催の趣旨】

モンスーンアジアの中心に位置するインド、バングラデシュ、ミャンマー、タイ、ラオスの各国では定期的に洪水やサイクロンなど自然災害の被害が報告されており、今後地球温暖化に伴う気候変動により自然災害の頻度や傾向が変化することも予想される。本研究集会では自然科学と社会科学の双方向から自然災害の実態を考察し、実行可能な対処法を探る。

気象学、水文学、農学など自然科学者と、地理学、経済学、開発学など社会学者、さらにはNGO実務者などが、南アジアの自然災害と在地社会の変化という問題意識を共有しつつ、各地域の事例について情報交換を行うことで、一つの専門分野だけではカバーしきれない自然災害の多面的性格について理解を深め、今後の研究方針や災害低減対策に貢献することが期待される

【プログラム】

●3月22日(日)

14:00-14:10 趣旨説明……浅田晴久(奈良女子大学)

【セッション1】

座長 寺尾徹(香川大学)

(発表:質疑応答含めて一人20分)

時間	タイトル	発表者
14:10-14:30	インド亜大陸北東部における気象災害	林泰一(京都大学)
14:30-14:50	バングラデシュにおける竜巻等突風被害軽減のためのワークショップ開催報告	山根悠介(常葉大学)
14:50-15:10	インドにおける茶園の自然環境～アッサム州とケララ州の比較から～	福島あずさ(神戸学院大学)
15:10-15:30	アジア域における将来社会経済シナリオを用いた水関連災害リスクに関する研究	木口雅司(東京大学)
15:30-15:40	休憩	

**【セッション 2】**

座長 山根悠介 (常葉大学)

(発表: 質疑応答含めて一人 20 分)

時間	タイトル	発表者
15:40-16:00	バングラデシュのハティア郡(Upozila)の稲作とサイクロン被害回避-農業統計と聞き取り調査から	安藤和雄(京都大学)
16:00-16:20	バングラデシュとミャンマーにおける自然災害	内田晴夫(京都大学)
16:20-16:40	インド、ブラマプトラ川河岸に住む移民たちの生業活動	浅田晴久(奈良女子大学)
16:40-17:00	ミャンマーの増水地帯の農地の野鳥	大西信弘(京都学園大学)

**【懇親会】**

18:00 より

**●3月23日(日)****【セッション 3】**

座長 浅田晴久(奈良女子大学)

(発表: 質疑応答含めて一人 20 分)

時間	タイトル	発表者
9:30-9:50	インド亜大陸北東部における TRMM と雨量計の直接観測	寺尾徹 (香川大学)
9:50-10:10	バングラデシュおよび周辺地域を対象とした降水に対する土壌水分量の影響	杉本志織 (首都大学東京)
10:10-10:30	世界的多雨地域チェラプンジの降水変動と変動要因	村田文絵 (高知大学)
10:30-10:40	休憩	

**【セッション 4】**

座長 木口 雅司(東京大学)

(発表: 質疑応答含めて一人 20 分)

時間	タイトル	発表者
10:40-11:00	バングラデシュにおける水蒸気起源と降水量との関係	田上雅浩 (東京大学)
11:00-11:20	洪水と共に暮らす人々の住まい: カンボジア・カンダル州北部の調査結果	上米良秀行 (土木研究所)
11:20-11:40	東南アジアにおける北東モンスーン季の豪雨	松本淳 (首都大学東京)

**【総合討論】**

11:40-12:10 コーディネーター: 林泰一(京都大学)

12:10 閉会のあいさつ……浅田晴久(奈良女子大学)

12:20 終了

## 【会場の案内図】

最寄り駅からのご案内

- 地下鉄／東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線－中野坂上駅下車 徒歩約7分
- 1番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、成願寺を右折

